

# しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2017年1月24日号（通算第14号）

## 子どもとの Q&A（ぎもんやしつもんのある子は素晴らしいです！）

**Q**：先生に、「文章をきちんと読んで、何が書いてあるか、しっかりまとめましょう」と言われます。どうしたら様ですか？（6年女子）

**A**：とても良い質問です。①「何を知りたくてその文章を読むのか」目的をはっきりさせます。次に、②文章全体を一回読みます。そして、③目的を意識して何が書いてあるかもう1回読みます。それを④短い文にまとめると、何が書いてあるかしっかりまとめられます。試してみてください。それから楽しみながら読書をするをおすすめします。



## 大人との Q&A（パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！）

**Q**：我が子は、計算は得意なのに文章題が苦手です。得意にする何かよい方法がありますか？（小4の母）



**A**：文章題ができるようになるためには、①問題をゆっくり読み、何を聞かれているか（何を答えればよいか）をはっきりさせます。次に②答えを見つけるのに使う数や条件をさがします。そして③どのような式になるか考えます。④式ができたら、計算をして答えを書きます。⑤もう一度問題を読み、式と答えと単位があっているかどうか確かめます。計算間違いと答えの単位も確かめます。文章題は、前に学習したことを思い出して使うことがありますから分からないときは、前に学習したことを思い出すことも大事です。

## 学校の先生がたの Q&A（先生にもわからないことがある！）

**Q**：新しい学習指導要領では、「読解力の向上」を重視することになるそうですが、どのようなことに留意する必要がありますか？（5年担任）

**A**：国語科で言う読解力と異なり、文部科学省全国学力調査B問題やPISA読解力は、「①このような課題を解決するために、②文章や資料などから必要な情報を読み取り、③解決の仕方を考え、あるいは自分の考えをまとめる」ことだと言われています。この中の①をきちんと指導することが重要です。どのような課題（問題）を解決するのかと言う「目的」を意識させないまま、「工夫して考えなさい」「自分の考えをまとめなさい」と急ぎ過ぎることは考えものです。「目的」を達成するために、必要な情報を選択し取り出すということが重要なのです。（上記、大人とのQ&Aも参考になります。）

そこで、物語だけでなく論理的な文章を読むことも必要です。また、解決の仕方や意見などを表現する、それを基に情報交換（ダイアログ）や討論（ディスカッション）をするなどして理解を深める「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点も考慮する必要があります。（昨年末の「中央教育審議会答申」もお読みください）



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。

